

情報発信・普及啓発の取組み紹介

～気候変動を「自分ごと」化し、次の一歩を後押し～

2025年12月17日（水）



地方独立行政法人

大阪府立 環境農林水産総合研究所

Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries,
Osaka Prefecture



おおさか気候変動適応センター

Local Climate Change Adaptation Center in Osaka



おおさか気候変動適応センターについて

おおさか環農水研

(地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所)

- ・農水産物や環境保全、生物多様性に関する調査研究
- ・**気候変動適応など将来を見据えた調査研究**

※ 適応に関する調査研究（一部）



醸造用ぶどう
「大阪R N-1」



恋の予感



てんたかく

高温耐性品種
の選定



フリー配偶体の
技術を利用した
わかめ養殖



天然ブナ林の調査



南方系有毒
プランクトンの
モニタリング



水産技術センター



生物多様性センター



本部・環境と食農の
技術センター

LCCAC
in
OSAKA

おおさか気候変動適応センター

2020年4月
おおさか環農水研内に設置

《業務》 気候変動やその適応策に関する

- ①情報の収集、整理、分析
- ②**情報発信（普及啓発を含む）**
- ③相談対応 など



4つの活動をととして適応を府民に届ける！



農業・林業・水産業



水環境・水資源



自然生態系



自然災害・沿岸域



健康



産業・経済活動



国民生活・都市生活



情報発信

セミナー

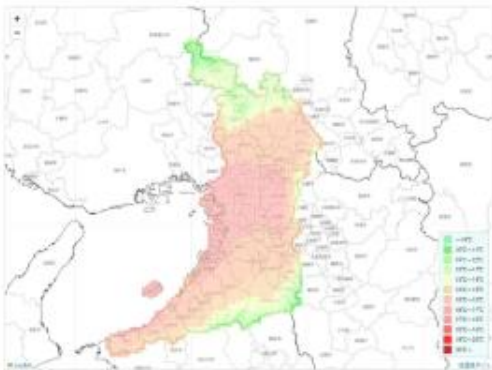
イベント

出前授業



情報発信（ホームページ）

①大阪における気候変動予測 (例：年平均気温)



現在気候（1980～2000年）



将来気候（2080～2100年）
※SSP5-8.5シナリオ

プラットフォームと位置づけ
役立つ情報を発信！



おおさか気候変動適応センター
ホームページ



アクセスは
こちら！

②大阪における気候変動の影響と適応策 (7分野)



〈ページの一例〉

流木発生抑制のための間伐強度に関する調査

林業地は、流木被害を引き起こさないために適切な管理が必要です。これからは、グリーンインフラを最大限活用した防災・減災を進めていくことが求められています。

間伐強度が林地の土壌表面の侵食に及ぼす影響を継続的に調査し、間伐の効果を検証するとともに、適切な間伐強度を明らかにする取組を進めています。



流木による被害（左：山腹崩壊 右：流木）

情報発信（X（旧 Twitter））



おおさか気候変動適応センター

Local Climate Change Adaptation Center in Osaka



あなたの「知る」が未来を変える！をテーマに
気候変動の影響や適応策をわかりやすくお届け！

ポストの一例（抜粋、一部変更）



《イベント案内》「子どもクッキング教室」開催！
電気やガスが止まっても調理できるパッククッキング
で、栗きんとん等を作りましょう！

フォローお願いします！



@knsk_lccac



《日傘の啓発》暑い季節は日傘が役立ちます。
男性も折り畳みや晴雨兼用など自分に合った
傘を選び、熱中症を予防しましょう！



情報発信（YouTube）



チャンネル登録
お願いします！



身近に起きている気候変動の影響やその適応策について
分かりやすく発信！

（23本（うちショート動画10本）制作、総再生回数は約23,000回）



大阪湾の環境変化を見逃さない！
～海水温上昇と気候変動～



ショート動画（約30秒）
（デラウェア（ぶどう）のジベレリン処理）



情報発信（OSAKAひんやりマップ）



猛暑の際における外出先の一時避難所として暑さをしのげる涼しい空間（クールオアシス）を事業者から提供（大阪府事業）。

適応センターからは、情報を地図上で「簡単に確認※」できる**OSAKAひんやりマップ**を作成。

※ Google Mapsを利用

民間施設



→ 約2,300箇所

自治体施設

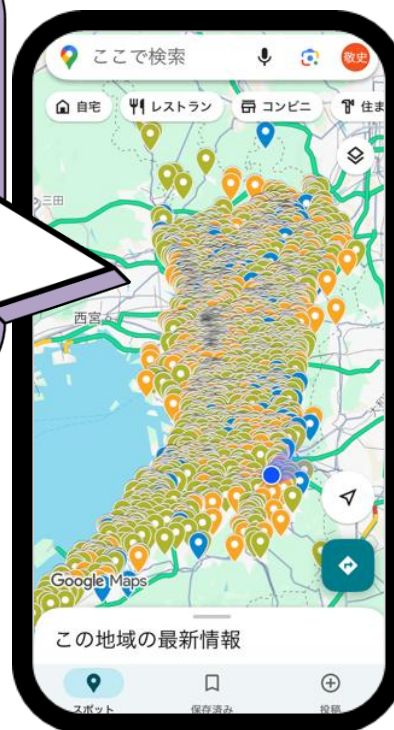


→ 約400箇所

指定暑熱避難施設



→ 約1,100箇所



実施期間
（5月から9月）
約60万回表示！





情報発信（おおさか気候変動「適応」ハンドブック）



おおさか気候変動 「適応」 ハンドブック 改訂版



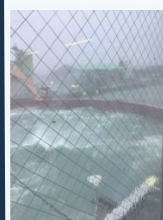
ハンドブックの内容
（具体例）



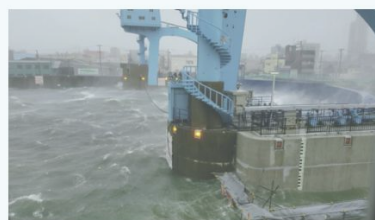
■台風 21 号での水門の活躍 （平成 30 年 9 月）



台風 21 号は、9 月 4 日、神戸市付近に上陸し、大阪府域にも甚大な被害をもたらしました。関西国際空港は浸水し連絡橋が破損したため、交通網が乱れました。沿岸部の高潮は、三大水門を閉鎖することで、大阪市内への侵入を防ぎました。かねてより整備していた水門が大いに役立ちました。



安治川



尻無川



木津川

三大水門が閉鎖され、大阪市内への潮の侵入を防いだ



大阪府広報担当副知事
もずやん

気候変動によって何が起きてるのかな？
気候変動への「適応」って何だろう？
このハンドブックに載ってるで！

※2024年1月改定（大阪府委託）

地球温暖化のメカニズムや、気候変動による各分野への影響と「適応」の取組を紹介



府民向けセミナー



「気候変動と防災」セミナー

治水の歴史から
気候変動時代の

防災を考える

摂河両国水脈図（柏元家文書）
柏原市立歴史資料館提供

定員200名 先着順

令和7年
2月9日
13時30分～16時 ※13時より受付開始

参加
無料

グランフロント大阪北館タワー B10 階
ナレッジキャピタル カンファレンスルーム
タワーB RoomB 01+02



基調講演

NPO 法人気象キャスターネットワーク理事長
(元 NHK キャスター)

井田 寛子氏

主催：大阪府(運営/地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 おおさか気候変動適応センター)



参加者の感想

- ✓ 他人事ではなく「自分事」となるきっかけになった
- ✓ 「気候変動と防災について意識が高まり」、考える機会が増えた
- ✓ 明治以前にも治水対策してきたことを知り、「歴史的背景も知る」ことができて勉強になった



暑さ対策セミナー



子どもに関わる方（5/27）

《講演》

「外」と「中」から暑さに備える
教育現場の経験から

大阪体育大学浪商幼稚園 園長 松井 美奈子 氏

汗っかきは熱中症のサイン！？

松下記念病院 救急看護認定看護師 國原 宏文 氏



参加者数：324名

・会場：25名

・オンライン：299名

高齢者、高齢者に関わる方（6/10）

《講演》

救急医が伝える熱中症対策
～熱中症のウソとホント～

堺市立総合医療センター 救命救急科 犬飼 公一 氏



参加者数：160名

・会場：18名

・オンライン：142名

※ 両セミナーとも、適応センターから気候変動の影響やその適応策について説明

事業者向けセミナー



大阪商工会議所と連携し、事業活動に対する**「リスク管理」「適応ビジネスへの展開」**の実践事例を紹介。参加者はオンラインを含めて139名。



リスクを機会に！ 日清食品グループの気候変動シナリオ
(日清食品ホールディングス株式会社)



暑熱下のリスクを事前に知らせる
「熱中対策ウォッチ カナリア®」の活用事例
(Biodata Bank株式会社)

参加者の感想

- ✓ 気候変動への対応が企業へ求められることを再認識。無視できない課題となっていることを痛感した。
- ✓ 気候変動が進むと予測される中であって、適応の変化も余儀なくされる。現況と近未来についての解説など参考になった。

市町村職員向けセミナー

3つのプログラムで、「適応」に関する理解を深める

①最新の科学的知見を**学ぶ**



日本の気候変動2025

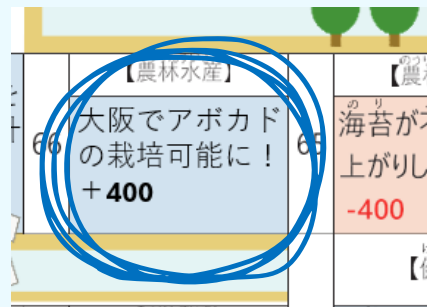
②適応の実践現場を**見る**



醸造用ぶどうの栽培現場

③適応策について**考える**

すごろく 気候変動適応への道 大阪版



※ 国立環境研究所 気候変動適応センター
すごろく「気候変動適応への道Ver.6.2.2」
を大阪府仕様加工



すごろくの様子

参加者の感想

- ✓ 楽しみながら適応について学ぶことができる良い体験になりました。
- ✓ 小学生でも取っつきやすいなと感じました。

イベント出展

松下記念病院わくわくフェスタ（5/17）にブース出展
多くの方が楽しく防災を学ぶ（約550名）

①体験する （防災トイレの吸水体験※）



※ 吸水ポリマーを使って水を吸わせる

②知る・学ぶ （防災用品の展示）



③備えを考える （アンケートに回答）



イベント出展

体験型の「暑さ対策」イベントを多様な現場で展開

①市民

環境イベント（高槻市）に出展。
体験を通じて日傘の使用を促す。



好評であった一方、「手がふさがるので使わない」などのリアルな声も把握

②事業者・来訪者

ブルーベリーファームへの来訪者に
様々な暑さ対策グッズを提供。



来訪者だけでなく、運営（農園）側から
「暑さ対策のヒントに繋がった」とのコメント

イベントの主催

和泉葛城山のブナ林は、ブナ生息域の南限に近く大変貴重。
ブナ林の見学をとおして、気候変動への備えを学ぶ。

国の天然記念物に指定！
(ブナとしては、
他には北海道と広島のみ)

**6歳から80歳まで
幅広い年齢層が参加！**



出前授業



親子で学ぶ！「ゲリラ豪雨マスター※」の出前授業（茨木市）



雨雲の模型を動かしながら、
被害にあわないように備えを考え
るゲームにチャレンジ！

雨雲（積乱雲）
の模型

※ 開発者の「人と防災未来センター（神戸市）」と香川大学 竹ノ内准教授、
京都大学防災研究所 前所長の中北名誉教授 他と連携して実施

活動をさらに発展させるための3つの柱（私案）



① 情報を届けたい人にちゃんと届ける

- ・ ホームページやSNSでの継続的な情報発信
- ・ 多様な媒体を活用した多角的なアプローチ
- ・ 「広告」もやってみる？

② 届ける仲間を増やす

- ・ 環境教育などを通じて、気候変動適応を発信する担い手を育成

《ヒント》地域気候変動適応センター 業務ガイドブック

③ 「知る」から「行動する」へ

- ・ 「認知度向上」のための活動を土台に、具体的なアクションを後押しする取組み

《ヒント》大阪・関西万博での日傘利用



ご清聴ありがとうございました！

